

科目名	情報システム学入門
担当講師	宮川 裕之
分類	必修
授業時間数（時間）	15.0
授業形態	対面
授業の概要	情報システムは技術や社会・経済の状況の変化とともに、その目的も変化してきました。そのため、求められる人材像も情報システムの開発目的の変化に呼応して変化してきました。情報社会の変遷と時代が求める人材像との関連を振り返ることで、DX時代に求められる人材像を考察します。合わせて、ADPISAの教育プログラムの根底に流れている考え方である広義の情報システムを扱い、実習を交えて理解を深めていきます。
特色とメリット	情報技術に関する学びのコンテンツは世の中に多く存在しますが、この授業では情報技術と人間活動を統合的に捉えること、その考え方の延長線上にあるDXの本質を認識します。
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ISアーキテクトの専門性とIT専門家との違いを説明でき、ISアーキテクトに必要な力の多様性を説明できる ・ISアーキテクトのマインドセットを身につけることにより、学びの持続性と応用力を醸成させる ・広義の情報システム、ビジネス・システムとコンピュータ・システムの関係性を説明できる
内容	<p>1日目：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・情報システムの目的の変遷と求められる人材像 ・情報専門領域の話、IS領域の話 ・情報システムの視点で捉える ・情報の視点で捉える-情報モデル ・機能の視点で捉える-ユースケース ・広義のISをデザインするという視点 ・systemicとsystematicの話 <p>2日目：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディ ・ヒアリング ・発表とディスカッション ・まとめ
受講の前提条件	「情報システム学」についての理解は前提としません。業務でのIT活用あるいはシステム実現の業務経験があることを前提にしています。
事前学習	<p>受講目的の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ビジネス・システム」と「コンピュータ・システム」の違いについて考えてみる ・業務とIT・情報システムの関わりについて考える ・自身の組織のDXに関連する課題を考える
事後学習	<p>社内外のコミュニティでの議論や情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業内のDX推進チームや情報システム部門と連携し、学んだ内容を共有する
参考文献・オンライン科目	情報システム学へのいざない-人間活動と情報技術の調和を求めて、浦昭二、細野公男、神沼靖子、宮川裕之、山口高平、石井信明、飯島正、培風館（1998）